



今後のふるさと納税のあり方と本町に寄せられた寄付金を有効活用するための施策について調査するため、平成30年11月25日に開催された「上士幌まるごと見本市2018」に参加し、ふるさと納税をいただいている納税者と直接意見を交わし、多くの貴重な意見を頂きました。



# 一般質問

第6回定例会（平成30年12月）

▼3名の議員より一般質問がありました

今回の一般質問の様子は、上士幌町議会ホームページ第6回定例会  
12月4日（火）録画中継【午前分】【午後分】から視聴できます。

## 交通ターミナルについて

野村 恵子 議員

- ①交通ネットワーク拠点整備の目的をどのような計画で達成しようとするのか。
- ②今後、幅広く町民などに活用して頂くため、どのような方法で周知されるのか。
- ③ターミナル利用者が月を増すごとに増え、8月の利用者が1600名強となっているが、この数字をどのように評価するか。
- ④町民からは「建物自体必要がない」という意見が多い状況。「年間、町の負担、施設運営費はどれだけかかるのか」等、町民の不安をどう解消するのか。
- ⑤改めて町の公共交通の現状と課題を把握し、拠点である交通ターミナルを核とした地域交通ネットワークの構築を進めていく。

②利活用のための周知方法については、町広報等による施設の紹介や施設内でのパネル展示などの開催等を紹介することで認知度を高める。  
観光客等にも観光施設としてPRしていく。

③施設整備の最大の目的は、住民の利便性の向上と安心・安全を図ることであり、交通

野村 恵子 議員



パブリックコメントを実施する中で意見を頂き進めて来た。  
財政負担を極力抑制するために、地方創生拠点整備交付金による支援を受け、2分の1の負担で整備する事ができる。

施設維持管理については、年間約500万円程度となる

見込みである。

財源の面では、国鉄士幌線代替輸送確保基金から400万円を充当し、一般財源の負担を極力抑える。

多世代の交流や居場所づくりの機能と高齢者等の外出を促し健康寿命の延伸に寄与するため、今後有効な活用がなされるよう進めていく。

## 防災・減災のまちづくりについて

早坂 清光 議員

- ①今年も日本列島では、地震や台風など大きな災害が発生している。本町でも防災計画を策定し災害に備えているが、以下の点について質問する。
- ②9月6日の胆振東部地震では、停電という事態になったが、町としてどう対処し、どのように検証されているか。
- ③日常的な防災対応の職員配置や活動はどうなっているか。
- ④日常的な町内会への啓発、支援等はどう行っているか。
- ⑤高齢者の安否確認や避難誘導、避難所の設備や機器等の総点検・検証をすべきでは。
- ⑥停電時の住民への情報発信のあり方や見直しの考えはあるか。
- ⑦地震発生直後から職員が

登庁し情報収集を行い、水道の断水を防ぐため電力供給対策を実施した。また、万全を期すため、午後に災害対策本部を設置した。

町民対応は、認定ごども園を一時避難所として開設し、山開センターに携帯電話の充電所を開設した。また、今回のブックアウトという未曾有の事態を4点に整理し検証している。

今後、役場・地域防災力の強化に向け具体的な取組を進める。

②総務課が防災業務を所管し、課長・主幹・主査が業務で業務に当たっている。日常的に啓発や防災訓練等の協力等々を行っている。

③直近の活動では、消防団と16区の合同防災訓練の支援、市街地区長連絡協議会での意見交換を行っている。

災害時の町内会、地域の助け合いは重要である。自主防災組織の設立に向けた取組、支援をしていく。

④今回の停電では、災害時要配慮者台帳に基づき安否確認

をしている。避難所の整備には多額の費用を要するので、計画的な整備を図りたい。

⑤今回、広報車・町ホームページ・ツイッターなどの情報発信や区長への情報提供をしたが、今後、よりきめ細やかな情報伝達手段の確保に取組みたい。

### 行政改革の取り組みについて

早坂 清光 議員

市町村合併の促進、平成の大合併という中で、本町は自主自立の道を選択し、行財政シミュレーションの下で厳しい行財政運営をしてきた。この間、町民の皆さんに理解と我慢を強いてきた。以下、質問する。

①行政改革について、どのように認識しているか。  
②正職員数の抑制でスタッフ制が機能しているのか。臨時

職員の正職員化や待遇改善を進めるべきでないか。

③町長の下での審議会等で町民の意見等をどう把握し、施策に反映しているのか。

④事務事業等の総合的な見直し、検証をすべきでないか。

答 ①平成の大合併議論の中で、自立するための徹底した

### 早坂 清光 議員



行財政改革として効率的な行財政運営や住民サービスの見直しを進めてきた。今後、これまでの考えを基本に進めていきたい。

②正職員は最も減少したときは94名だが、現在は120名である。政策課題に応じて重点的に配置している。

スタッフ制は、縦割り行政の弊害の改善などを狙いに導入している。また、イベント等の課内協力は円滑に行われている。臨時職員の待遇改善も行ってきた。

③附属機関、各委員会では、幅広く町民に参加いただき、各種施策を計画的に策定している。町民の意見把握、施策反映

は協働のまちづくりの基本である。大型プロジェクト等は、町民説明会やパブリックコメント等々、広く民意を施策に反映するよう努めている。

④近年は、地方創生が喫緊の課題であり、総合戦略に基づく各施策の効果検証を行っている。

全体的な各事務事業等の見直し・検証は予算編成時に行い、行財政運営に当たっていく。

### 消費税引き上げに反対を

山本 和子 議員

安倍首相は、平成31年10月より、消費税10%引き上げを実行しようとしている。町民の消費向上、負担軽減を願う、その対応について質問する。

①町民の生活を守るため、引き上げに反対するべき。

②町民や町内業者へは、大きな打撃になるのではないかと商品券や還元等を行っても

一時的だったり、全く恩恵のない方が多い。

③町の負担増はいくらか。

④町の公共料金等に転嫁するべきではない。水道、下水道はそのままに、給食費は無料の検討を。

答①税は負担するのが、原則と考える。

②政府は、9項目の経済対策を実施するとし、日銀の試算では実質的には家計の負担はほぼなくなるとしている。しかし、少なからず、家計への影響が生じると考える。

町内業者では、複数税率を導入しない商店で売り上げへの影響が予想される。

③水道と下水道事業で、国に消費税を納めているが、8%分は町が負担してきた。引き上げ分の2%は122万3千円と推計される。また、全会計の歳出分では、8868万円の負担増と推計。また、国から交付される「地方消費税」は、10%の22%分となっているが、配分は決まっていない。

④平成31年度末までに、検討する。見直しにあたっては、町民生活等への影響を勘案し、慎重にしたい。

### 安心して入居できる公営住宅のために

### 山本 和子 議員

公営住宅は、所得の少ない方などに安心して住んでもらうために建設されているが、まだまだ不十分である。

①入居条件を緩和するべきである。現在は保証人が必要と

の建て替えなどが予定されているが、どこになるのか、住民説明会も行うべきである。

③北団地の玄関修理が実施されているが、一気に修理するべきと思うが、今後の予定は。

答①国土交通省より公営住宅標準条例案が示されており、



山本 和子 議員

しているが、高齢化や住み替えもあり、保証人の確保が難しくなり、この規定と、「税金の滞納のない事」を削除するべきである。

②西団地の住み替えとして、今後「まちなか住宅」が22戸予定されているが、どの場所になるのか。

北団地は、個別改修や30戸

北海道では、来年度改正に向けて作業を進めている。北海道の方針を参考にしながら検討する。

②次期のまちなか住宅は、来年度より用地確保、平成32年度に建設予定をしている。

北団地の個別改修は、平成31年度以降6戸を予定。建て替えは、平成39年度以

降、北団地敷地内及び周辺で予定。説明会は、具体的にいつか行いたい。

③緊急性の高いものや劣化の著しいものから修理している。残り46戸も3年間をめどに修理する。業者の問題もあり、年間戸数に限界があるが、努力する。

### 定住促進賃貸住宅建設助成事業について

### 山本 和子 議員

固定住促進賃貸住宅建設助成事業は、不足している住宅を民間活力の活用ということ、平成20年から3年間の要綱扱いで、3回延長され、平成31年までとなっている。当初は、建設者、建設業者とも町内に限っていたが、平成27年度からは、町外でもよくなり、助成額は10年間で約5億円となっている。町内への波及効果はどのくらいになるのか。

また、アパートがどんどん建ち、誰が住んで、誰が管理しているのか、入居はあるのか、町のコミュニティづくりの面でも心配の声が聞かれる。この間の事業を検証し、10年後、20年後も視野に入れ、充分検討し、見直すべきである。

答 昨年までの実績による事業検証は、委託業務により実施している。10年間の助成額は、4億9279万円で、生産活動の他、新たな消費による二次波及効果は40億5200万円。これは全体の波及効果であり、町内への効果は調査していない。固定資産税の収入も見込める。住宅政策は、総合的な地域経済の振興策でもある。

入居率は、9割以上で農家の従業員住宅も必要である。今後については、建設業者等への聞き取り調査などから、安定期に入るとの見込みもある。地域全体の景気や求人状況などを踏まえて検討していく。

# 平成30年第6回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】平成30年12月4日～21日（18日間）



※主な結果を掲載しています。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決の結果			
会議案第18号	上士幌町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	平成30年 12月4日	賛成 10 反対 0	原案可決			
意見書案第24号	JR根室線の早期災害復旧と路線維持を求める意見書の提出について						
同意第2号	公平委員会委員の選任について						
同意第3号	公平委員会委員の選任について			賛成 9 反対 0	原案可決		
議案第63号	上士幌町起業家支援松井基金条例の制定について						
議案第64号	十勝圏複合事務組合規約の変更について						
議案第65号	公の施設に係る指定管理者の指定について						
議案第66号	平成30年度上士幌町一般会計補正予算（第7号）⇒435万6千円を追加し87億9415万8千円に補正。						
議案第67号	平成30年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）⇒6万8千円を追加し7億856万9千円に補正。						
議案第68号	平成30年度上士幌町介護保険特別会計補正予算（第3号）⇒49万8千円を減額し5億7423万5千円に補正。			賛成 9 反対 0	原案可決		
議案第69号	平成30年度上士幌町水道事業特別会計補正予算（第2号）⇒902万3千円を減額し1億7929万9千円に補正。						
議案第70号	平成30年度上士幌町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）⇒404万1千円を減額し3億5244万2千円に補正。						
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について					適任	
所管事務調査報告	【産業経済建設常任委員会調査報告】 公共工事の調査に関すること		—	報告済			
議案第71号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成30年 12月21日	賛成 9 反対 0	原案可決			
議案第72号	上士幌町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について						
議案第73号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について						
議案第74号	上士幌町ナイタイ高原牧場観光施設条例の一部を改正する条例の制定について						
議案第75号	北十勝介護認定審査会共同設置規約の変更について						
議案第76号	平成30年度上士幌町一般会計補正予算（第8号）⇒2億7042万5千円を追加し90億6458万3千円に補正。						
議案第77号	平成30年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）⇒25万3千円を追加し7億882万2千円に補正。						
議案第78号	平成30年度上士幌町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）⇒3万7千円を追加し1億35万2千円に補正。						
議案第79号	平成30年度上士幌町介護保険特別会計補正予算（第4号）⇒53万5千円を減額し5億7370万円に補正。						
議案第80号	平成30年度上士幌町水道事業特別会計補正予算（第3号）⇒16万9千円を追加し1億7946万8千円に補正。						
議案第81号	平成30年度上士幌町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）⇒9千円を減額し3億5243万3千円に補正。						
監報告第5号	例月出納検査報告について					—	報告済

## 議員さんの ひと言



中島 卓蔵 議員

◆元気まぢかみしほろ、商店街も元気になっていくのだろうか。昨年は老舗の大型店2店が閉店した、商店街にとっては大打撃だ。

消費人口の流出、宅配業者の参入、近隣に大型店の進出など、商店街をとりまく環境は年々厳しさを増してくると感じている。



早坂 清光 議員

◆議員として早いもので1期4年が経過しようとしています。この間、町民の皆様の声を町政に反映すること、私なりの経験と知識を活かした活動に努めてきました。

上士幌町は今、人口減少に立ち向かう「ふるさと納税」や地方創生などの先進的取り組みで他市町村からも注目されています。その反面、町民の皆さんとの情報共有が十分でない面もあるように感じています。議員としての活動のより充実が必要と思っています。

## 長年の功績を讃えて



▲贈呈を受ける佐々木議員

平成30年10月26日に東京都で開催された、平成30年度市町村議員総務大臣感謝状贈呈式において、佐々木守議員が在職35年となられたことにより、総務大臣から感謝状の贈呈を受けました。(佐々木議員については都合により欠席)

これにより、12月4日、議場において感謝状の伝達式を行いました。

### 第1回議会定例会（予定）

3月5日（火）・6日（水）・14日（木）・20日（水）

### 予算審査特別委員会（予定）

3月7日（木）・8日（金）・11日（月）

インターネットで生中継 <http://www.kamishihoro.jp/gikai/>

※ライブ中継のほか、録画中継も視聴できますので、是非、ご覧ください。



### 議会だより 編集特別委員会

委員	委員	副委員	委員	議長
員	員	員長	員長	長
佐藤	中村	野村	山本	杉山
	保	恵	和	幸
昇	嗣	子	子	昭

### ぎかい日誌

平成30年12月～31年2月

#### 【12月】

- 4日◆第6回議会定例会（1日目）
- 12日◆常任委員会（総文・産経）
- 18日◆議会運営委員会
- 21日◆第6回議会定例会（最終日）
- ◆議会だより編集特別委員会

#### 【2月】

- 18日◆常任委員会（総文・産経）
- 26日◆全員協議会
- 28日◆議会運営委員会